

Europe Indicators

発表日: 2023年3月23日(木)

欧州経済指標コメント: 2月英国消費者物価

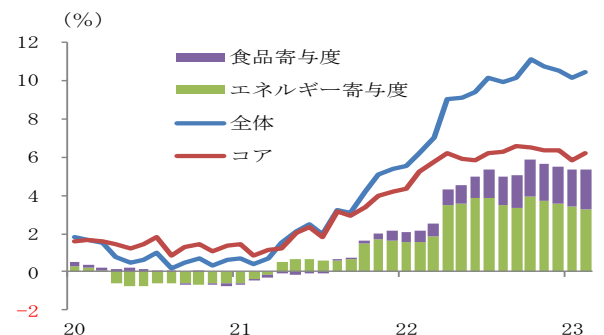
～ヘッドライン、コアともに再加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

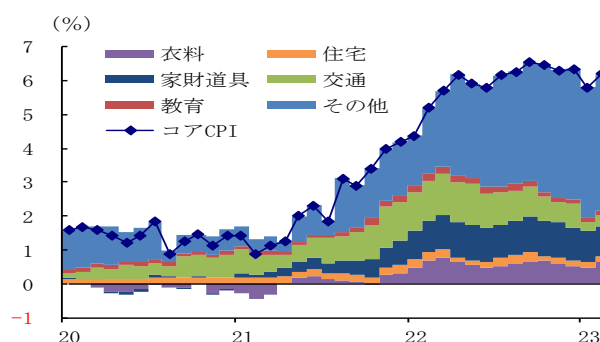
- 22日に発表された2月の英国の消費者物価は前年比+10.4%と前月の同+10.1%から再加速。昨年10月の同+11.1%をピークに物価上昇率は僅かに鈍化傾向にあるが、高止まりが続いている。
- 原油価格のピークアウトを反映し、自動車燃料価格の上昇率が一段と鈍化した一方、昨年10月以降のエネルギー料金凍結で住宅用燃料価格が高止まりし、資源価格の上昇一服後もエネルギー料金全体がそれほど落ちていない。エネルギー料金の凍結がなければ、英国の物価上昇率は今以上に上昇が加速していたが、ユーロ圏諸国などと比べて資源価格調整による物価の押し下げが顕在化しにくくなっている。
- 天候不順による野菜価格の高騰を反映した食料品価格の上昇、1月の下振れの反動が出たコア物価の再加速、たばこ価格の上昇加速がヘッドラインの計数を押し上げた。コア物価の上昇加速は、衣料品、医薬品、電話、外食、諸雑費などが中心。1月からのウェイト変更で前年比の上昇率が高めに出た費目や、バレンタインデーが調査日であったことによる外食費の上振れも影響した。
- 米銀破綻やスイス大手行の救済など銀行不安が広がっているが、今月の物価上振れ、賃金上昇率の高止まり、NHSワーカーに対する最近の賃上げ妥結など、インフレ圧力が燻っている。23日夜に判明する3月のBOE政策委員会では、0.25%の利上げが決定される公算が大きい。

■英国: 消費者物価の推移 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: 英統計局資料より第一生命経済研究所が作成

■英国: コア消費者物価の要因分解 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: 英統計局

■英国の消費者物価 (%)

		2022				2023											
		1Q	2Q	3Q	4Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費者物価	(前期比)	1.4	4.3	1.9	2.9	2.5	0.7	0.8	0.6	0.5	0.5	2.0	0.4	0.4	-0.6	1.1	
	(前年比)	6.2	9.2	10.0	10.7	9.0	9.1	9.4	10.1	9.9	10.1	11.1	10.7	10.5	10.1	10.4	
コア消費者物価	(前年比)	5.1	6.0	6.3	6.4	6.2	5.9	5.8	6.2	6.3	6.5	6.5	6.3	6.4	5.8	6.2	
食料品	(前年比)	5.1	8.3	13.4	16.5	6.7	8.6	9.8	12.6	13.1	14.5	16.2	16.4	16.8	16.7	18.0	
アルコール	(前年比)	1.8	1.3	2.9	3.8	1.2	1.7	1.2	2.8	2.9	2.8	4.0	4.1	3.5	5.8	5.7	
たばこ	(前年比)	6.0	8.2	8.2	5.3	7.8	8.5	8.3	8.1	8.1	8.3	8.3	4.0	3.9	4.5	5.7	
エネルギー	(前年比)	24.5	54.1	53.1	55.8	52.1	52.8	57.3	57.8	52.0	49.6	59.0	55.6	52.8	51.2	49.0	
住宅用燃料	(前年比)	23.6	69.9	70.1	89.2	69.6	69.9	70.2	70.3	69.7	70.1	89.7	89.0	88.7	89.5	88.6	
自動車燃料	(前年比)	25.6	35.6	34.1	16.8	31.4	32.8	42.3	43.7	32.1	26.5	22.2	17.2	11.5	7.7	4.6	

注: 消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: 英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

